



月刊 勤労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

91.11.11 No. 3491

悪化する勤乗勤改悪!

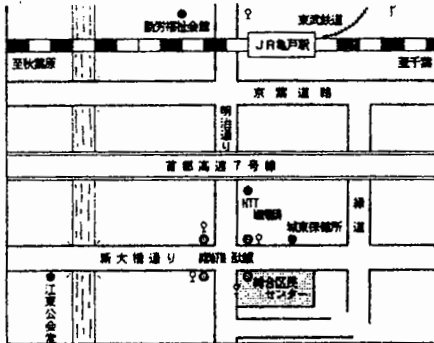
① 勤乗勤改悪を「5万人体制」の中心にすえている。
 鉄道輸送の背骨である動力車乗務員と車掌一万二千人を直撃する合理化であり、国鉄・JRの歴史をとうして最大の勤務制度の改悪攻撃である。この攻撃を許すなら他の部門の合理化も、止まるところを知らない状態になってしまう。全ての職場からの決起を!

② 「動力車乗務員」とは何か。
 という考えかたすら解体し、動力車乗務員の特殊性を一切無視して、列車乗務員と勤務制度を統一するというのである。

③ 「待ち合わせ時間」を労働時間から一切切り捨て、訓練時間すら労働時間から排除するというのである。
 これだと労働時間の一割りがカット消えてしまうというものである。断じて許せない。

④ 準備時間の差を無くし会社の裁量ひとつでいくらでも切り縮めることができる制度としているのである。
 また、一継続乗務キロ制限をとり払うというのだ。要するに、今回の提案は、効率だけを求め安全の確保や運転士の安全・生命、健康等一切を無視するものである。全組合員は、ストライキも辞さず反撃に立とう!

11.18 国鉄
 労働者集会
 集合・千葉発 11:37
 (1018F)
 7番線
 小快速最後部



JR東労組の裏切り妥協を許すな!
結集を
国鉄労働者集会へ
 11.18 (13F) 国鉄区役所

勤乗勤をめぐる攻防は、完全に「決戦」局面をむかえた。JR総連・東労組改革マルは、若干の手当ての引き上げとパーターに近々にも裏切り妥協に入ろうとしている。しかし、現場の東労組の組合員の中からは、提案前数ヶ月から会社と秘密に検討を行ってきたJR東労組改革マルへの不満が吹き出している。加えて、JR総連は、西・東海労組の分裂・九州一四国の分解一東労組への波及必至というドタン場に追いこまれている。われわれは、「全ての運転士は勤労総連合に」を合言葉に勤乗勤改悪阻止に総力たちがあがる。11・18総決起集会へ!

⑤ 行き先地手当のペテン。会社側は、「行き先地手当を設けて各行き先地について六〇分だけは、六〇分につき九百円の手当てを支払う、としているが実は全くのペテンである。実際手当支払いの対象となるのは、六〇分マイナス準備時間マイナス労働時間B=二五分以下ということである。泊りは、もっとひどい。泊り勤務の部分で前後の準備時間が五五分とすれば支払いの対象となるのは、わずか五分=七五円にすぎない。実に許せない実態なのだ。

勤乗勤改悪阻止 ストライキでたたかろうぜ